



(横浜市保土ヶ谷区・旭区)
自民党神奈川6区支部長
衆議院議員

古川
なおき



安定と繁栄へ、 連立政権が 新出発



公明党神奈川県本部代表
参議院議員
三浦
のぶひろ

■ 「政治とカネ」に終止符

古川 去る9月30日に、自民党の石破茂新総裁と公明党の石井啓一新代表の間で、連立政権の合意文書が交わされました。

三浦 政権運営の第一歩は「政治への信頼回復」です。公明党は政治資金を監督する独立した機関の設置を提案し、政権合意にも盛り込まれています。

古川 自民党は派閥によるパーティー券収入の不記載問題で、国民から厳しいお叱りを受けています。私自身は自らの政治資金を適正に処理していますし、今までもそうですが、これからも無派閥で活動していきたいと思っています。

三浦 今度こそ「政治とカネ」に終止符を打たなければいけませんね。もちろん、それだけが政治改革ではありません。お互いに力を合わせて政界の旧弊を打ち破ってまいりましょう。

■ 日本経済の急所を守る

古川 連立政権にとって、経済の成長も大きな課題です。実質賃金はようやくプラスに転じてきましたが、多くの中小企業にとって賃上げの原資を確保することは容易ではありません。原材料費や光熱費、人件費が上がった分を下請事業者が親事業者に対して価格転嫁ができるよう支援が必要です。

三浦 中小企業みずからの生産性の向上も急務です。業務プロセスを省力化するためのデジタル技術の導入などを一層推進する必要があります。ところで、古川先生は国政初挑戦となる前回選挙で、サプライチェーンの強靱化や先端技術の海外流出規制など「経済安全保障」を公約に掲げていらっしゃいました。

古川 他国の輸出規制や紛争によって燃料や原材料が入ってこなくなったり、重要インフラへのサイバー攻撃や企業買収等を通じて技術が流出したりする

リスクが高まっています。日本政府は経済安保担当大臣の創設や関連法の成立など、世界に先駆けて対策を講じています。

■ 外交と防衛で平和を守る

三浦 まさに自公連立政権のクリーンヒットと言えるのではないのでしょうか。アメリカが主導する国際秩序が終わりを迎えようとしている今、経済安全保障の分野でわが国が中心的役割を果たしていくことは重要です。

古川 一方、国家の安全保障体制については、日米同盟を基軸に、自由と民主主義など基本的価値を共有する国々と協調して、力による一方的な領土や主権の侵害を許さない、という国際世論の構築を急がなければなりません。

三浦 防衛力の強化はもちろん大切ですが、それだけで平和は実現できないということですね。外交によって争いを未然に防ぐ、対話によって平和と安定をめざすという取組がとても重要になります。

■ 自公それぞれ強みを生かして

三浦 若者世代が将来に希望を持ちにくくなっていることが心配です。所得の向上は言うまでもなく、人生に必要な教育や医療、住まいなどには一生にわたって経済的支援が必要であると感じています。

古川 連立政権合意には、若者をはじめ、子どもから高齢者まで各世代の生活や女性の活躍を支援すること、そして災害に強い国づくりなども盛り込まれています。国民の皆様は政策の充実を実感していただけるように、自民党と公明党がそれぞれの強みを生かしながら、結束して働いていきましょう。

(連立政権合意の主な内容は裏面に掲載しています)

ふるかわ なおき

●1968年生まれ●明治大学政治経済学部卒業●同大公共政策大学院修了●横浜銀行勤務、議員秘書を経て、1995年旭区より横浜市議会議員選挙初当選(26歳最年少)●2021年衆議院議員選挙神奈川6区初当選●所属委員会/総務委員会 文部科学委員会 政治改革に関する特別委員会●自民党/2027横浜国際園芸博覧会(花博)推進特命委員会事務局長 スポーツ立国調査会スポーツビジネス小委員会事務局長 商工・中小企業関係団体委員会副委員長 国土建設関係団体委員会副委員長 地方組織・議員総局次長 新聞出版局次長

みうらの のぶひろ

●1975年生まれ●宮城県仙台市出身。神奈川県横浜市在住●千葉工業大学工学部金属工学科卒●東京工業大学にて博士(工学)を取得●元防衛大学校准教授●2016年参議院議員選挙神奈川選挙区初当選(当選2回)●所属委員会等/議員連帯委員会理事 経済産業委員会委員 国民生活・経済及び地方に関する調査会委員●公明党/参議院国会対策筆頭副委員長 青年局長 安全保障部会部長などを歴任●公明党選挙対策委員長ならびに神奈川県本部代表

Profile

連立政権合意の主な内容

- 政治資金に関する独立機関の設置、調査研究広報滞在費の用途明確化など不断の政治改革に取り組む
- 成長型経済へ、持続的な賃上げや物価高対策、中小企業の生産性向上支援を強化する
- 若い世代の所得の向上、高等教育費の負担軽減、ヤングケアラー支援を進める
- 男女間の格差是正やあらゆる意思決定の場への女性の参画を拡大する
- 高齢者の所得の底上げに向け、多様な就労環境の整備や公的年金の充実を図る
- 大災害から国民を守るため、国土強靱化をハード・ソフト両面にわたり強力で推進する
- 東日本大震災、能登半島地震など近年の災害からの復旧・復興に全力で取り組む
- 再生可能エネルギーの拡大や循環経済への移行を促進し、脱炭素社会を構築する
- 地域の強みを生かし、経済活性化や社会課題の解決、地域公共交通の再構築などに取り組む
- 国際秩序の維持・強化とともに、国際社会の平和と安定を脅かす課題の解決に取り組む
- すき間のない安全保障体制の構築と防衛力の抜本的な強化を進める
- 憲法審査会の審査を活性化し、憲法改正に向けた国民的議論を深める



古川なおき衆議院議員とともに、新たな政治を切りひらく！

衆院選比例区

南関東B(神奈川、千葉、山梨の各県) **公明党公認予定候補**

●1990年生まれ●公明党青年局長●生まれも育ちも神奈川県鎌倉市。33歳。早稲田大学・北京大学を卒業。東京大学・ソウル大学の大学院修士課程を修了●野村総合研究所で公共政策の知見と経験を培う●2児の父親として子育てに奮闘している。

はら
だ
な
お
き
原田直樹



<https://lit.link/haradanaoki> SNSはこちら



ぬ
ま
ざ
き
み
つ
こ
沼崎満子

●1973年生まれ●公明党女性局長次長●筑波大学医学部卒業。同大学院で博士(医学)を取得●卒業後、麻酔科医として救急医療の現場へ●JA神奈川県厚生連伊勢原協同病院で手術部長に●障がい者のためのNPO法人を母と設立●働きながら、がんの母、難病の父の介護も経験してきた。



SNSはこちら <https://lit.link/numazakimitsuko>



衆院選のしくみ [投票方法] 衆院選は、1人が「2票」投票します

小選挙区 (289選挙区)

小選挙区は各個人が立候補を届け出



候補者名を書いて投票

得票数の最も多い候補者1人が当選

公示

投票

開票

比例区=全国11ブロック (総定数176)

比例区は各政党が候補者名簿(拘束名簿式)を届け出



政党名を書いて投票

ブロックごとに、政党の得票数で議席を比例配分